

当社の在宅介護用電動ベッドの安全対策について

当社の在宅介護用電動ベッドは、安全にご使用いただくため、ベッドの構造やシステムのうちでさまざまな安全対策が施されています。その主な内容は、つぎのとおりです。

【ベッドの構造】

ベッドの背ボトムを下げる方向で何かモノを挟み込んでしまった場合には、モーターの動力が背ボトムに伝わらなくなる構造になっています。

【システム】

1. 手元スイッチは、落下させるなど衝撃を加えても誤動作しない設計にしています。
2. 手元スイッチは、液体がかかっても接点部が浸水・短絡しない防水構造をとっています。（仮にシール材が劣化して液体が浸入しても誤動作しないよう動作停止するよう回路が構成されています。）
3. 手元スイッチは、裏返しに置いてもボタンが押されないようボタン面をケースよりも低くしています。
4. 手元スイッチは、無意識の動作を防ぐため、複数のボタンが同時に押されても動作しないようにしています。
5. 手元スイッチケーブルやコネクタが単純に短絡しても動作しないような回路構成にしています。
6. マイコンの暴走による誤動作を防ぐための監視機能を持っています。
7. モーターが加熱しないよう保護回路を持っています。

以上